

令和 7 年 度

私費外国人留学生選抜
学生募集要項



福岡教育大学

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>

福岡教育大学教育学部のアドミッション・ポリシー

福岡教育大学は、教員養成の広域拠点大学として、これからの学校教育において、さまざまな課題の解決等に率先して取り組むことのできる教員、具体的には、

- ・ 幼児・児童・生徒の発達、自律を支援できる教員
- ・ 義務教育段階での学習の流れを見通すと同時に、幼児・児童・生徒との相互のコミュニケーションを活性化させ、深い学びへ導くことができる教員
- ・ 幼児・児童・生徒の発達を理解するとともに、個々の子どもを客観的に理解できる教員

の養成を使命としています。そのために学士課程においては、学校教育現場において求められる、1) 幅広い視野と豊かな教養、2) 高い専門性、3) 確かな実践力を培い、各学校で活躍できる人材を育てることを目標にしています。これらを実現するために本学では、各学校の教員に求められる専門性と実践的指導力を確実に習得するカリキュラムを編成しています。

<福岡教育大学では、次のような人の受験を期待します。>

- ◎教員を目指す強い意志と情熱をもち、子どもの発達や学習の支援、子どもの様々な行動のマネジメントなどに対する関心があり、主体的・積極的に、さらには多様な人々と協働して、教員となるために必要な学修に取り組むことができる人。
- ◎高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。以下同様。）の各教科・科目等において取り扱われる知識・技能を全般的に身に付けているとともに、それらを活用して、論理的に思考し、判断し、さらに自分の考え等を他の者に対して説明するなどの表現力があると同時に、課題解決に向けて根気よく取り組むことができる人。
さらに、中等教育段階の教員（特別支援学校を含む。）を目指す場合は、教員となって担当しようとする教科、科目に関する学力を十分に身に付けている人。
- ◎自分とは異なる価値観や考えをもつ人とも接することができるコミュニケーション力や協調性を備え、組織的な活動の中で自らの責任を果たすことのできる人。
- ◎初等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程初等教育プログラムでは、すべての教科等を教育することができる基礎的な知識が備わっているとともに、教科等横断的、異分野融合的な知を習得できる柔軟な思考力が備わっている人。さらには小学校高学年での教科担任制に対応できる基礎的な知識が備わっている人。
- ◎中等教育教員養成課程、特別支援教育教員養成課程中等教育プログラムでは、特定の教科を教育することができる基礎的な知識が備わっている人。さらには、教科等横断的、異分野融合的な知を修得できる柔軟な思考力が備わっている人。

目 次

1. 募集人員．．．．．	1
2. 出願資格．．．．．	1
3. 出願手続．．．．．	2
4. 障害等のある入学志願者の事前相談について．．．．．	3
5. 入学者選抜方法等．．．．．	4
(1) 学力検査等．．．．．	4
(2) 日本留学試験及び TOEFL．．．．．	5
(3) 実技検査等の内容．．．．．	6
(4) 面接，小論文，実技検査の評価の観点．．．．．	1 2
6. 試験期日及び時間割．．．．．	1 4
7. 試験場．．．．．	1 4
8. 合格者発表．．．．．	1 4
9. 入学手続．．．．．	1 4
10. 入学料，授業料．．．．．	1 4
11. ノートパソコンの必携（BYOD）について．．．．．	1 5
12. 入学者選抜試験個人成績の開示について．．．．．	1 5
13. 志願票等の記入上の注意．．．．．	1 6
14. 個人情報の利用について．．．．．	1 7
15. その他．．．．．	1 7
(参考) 令和 6 年度私費外国人留学生入学試験状況．．．．．	1 8

◇大学所在地 【交通機関】 【周辺道路地図】

福岡教育大学キャンパス・マップ ・ 福岡教育大学各種お問い合わせ先

1. 募集人員

課程	プログラム・専攻 等		募集人員
初 等 教 育 教 員 養 成 課 程	幼児教育プログラム		若干名
	小学校教育専攻プログラム		
	人文・社会教育プログラム 【注１】		
	理数教育プログラム 【注１】		
	芸術・実技教育プログラム 【注１】【注２】		
中 等 教 育 教 員 養 成 課 程	中等教育プログラム	国語専攻	若干名
		社会科専攻	
		数学専攻	
		理科専攻	
		英語専攻	
		音楽専攻	
		美術専攻	
		保健体育専攻	
		家庭専攻	
		技術専攻	
		書道専攻	
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム		若干名
	特別支援教育中等教育プログラム		

【注1】

初等教育教員養成課程の次のプログラムでは、1年次から主専攻（小学校教育）について学修し、副専攻については、入学後（2年進級時）に下表に示す領域のうちから選択して学修します。なお、副専攻の領域には、受け入れが可能な人数の上限がありますので、希望通りに選択できない場合があります。

対象の課程及びプログラム名	副専攻の領域
初等教育教員養成課程 人文・社会教育プログラム	国語領域、社会領域、英語領域
初等教育教員養成課程 理数教育プログラム	数学領域、理科領域
初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム	音楽領域、美術領域、保健体育領域、家庭領域、技術領域

【注2】

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラムの志願者は、音楽系科目、美術系科目、体育系科目、家庭系科目、技術ものづくり系科目の中から受験科目を選択します。

2. 出願資格

次の各号にすべて該当する者

- (1) 日本国籍を有しない者（日本の永住許可を得ている者を除く。）
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（令和7年3月修了見込みの者を含む。）若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
※詳細については、以下、文部科学省のホームページをご参照ください。
(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314.htm)
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構が令和6年6月又は11月に実施する「日本留学試験」を受験した者（5ページ参照）で、日本語の「記述」の得点が25点以上の者
- (4) 中等教育教員養成課程中等教育プログラムの国語専攻及び英語専攻においては、令和5年1月以降の英語技能検定のTOEFLを受験した者（5ページ参照）

3. 出願手続

(1) 出願書類等

次の書類等を一括して出願期間内に提出してください。

①入学試験志願票	本学所定の用紙 に自筆で記入してください。 ※本年度受験した日本留学試験の受験番号を必ず記入してください。
②入学志願者履歴書	本学所定の用紙 に自筆で記入してください。（学歴については、すべての教育機関にわたって、名称及び入学・卒業の年月を明記してください。）
③写真票・受験票	本学所定の用紙 に自筆で記入してください。
④検定料払込証明書	検定料：17,000円 （※払込手数料は受験者負担） 以下の本学指定の振込先銀行口座に「電信扱」で振り込み、振込金受領書や取引明細書等、振り込んだことが分かる書類（コピー可）を提出すること。また、 <u>必ず本人名義で振り込むこと</u> 振込先銀行：福岡銀行 宗像支店 普通 1584211 口座名：国立大学法人福岡教育大学長 飯田 慎司 （コクリツダイガクホウジン フクオカキョウイクダイガクチョウ イイダ シンジ）
④卒業証明書等	日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は、資格証書及び成績証明書をそれぞれ提出してください。
⑤住民票の写し	i 出願時に日本国内に居住している者は、市区町村長が発行する住民票の写し（※国籍、在留資格、在留期間の確認ができるもの）を提出してください。 （注意）住民票の写しとは、居住している市役所等から取り寄せた書類のことを指します。取り寄せた書類のコピーではありません。 ii 出願時に海外に居住している者は、旅券の写しを提出してください。
⑥写真	3枚 上半身無帽正面向で、出願前3か月以内に撮影したもの（縦4cm×横3cm）を、 入学試験志願票、写真票、受験票の所定の欄 に貼付してください。
⑦受験票送付用封筒	受験票を送付しますので、長形3号の封筒の表面に受取人の住所（日本国内に限りまゝ）、氏名及び郵便番号を明記し、「受験票在中」と朱書きの上、郵便切手（410円）を貼付してください。
⑧日本留学試験の受験票	令和6年度に実施された「日本留学試験」の 受験票の写し を提出してください。
⑨TOEFL成績証明書	中等教育教員養成課程中等教育プログラム国語専攻又は英語専攻を志望する者は、TOEFLの成績証明書（コピー不可）を必ず提出してください。ただし、令和5年1月以降の試験成績が有効となります。 （提出されたTOEFLの成績証明書は受験票発送時に返却します。）
⑩音楽実技検査票	初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（音楽系科目）又は中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻を志望する者のみ提出してください。（ 本学所定の用紙 を使用してください。）
⑪競技歴調査書	初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）又は中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻を志望する者のみ提出してください。（ 本学所定の用紙 を使用してください。）

（注1）①入学試験志願票、②入学志願者履歴書、③写真票・受験票、⑩音楽実技検査票、⑪競技歴調査書の「本学指定の様式」については、本学ホームページ（<https://www.fukuoka-edu.ac.jp>）に掲載の様式【「入試案内」→「教育学部」→「私費外国人留学生選抜入試日程・募集要項」→「出願書類ダウンロード」】から、ダウンロードして作成してください

（注2）日本語以外で書かれている書類については、必ず日本語の訳文を添付してください。

（注3）提出された書類に虚偽があることが判明した時は、入学試験に合格しても入学を認めません。

（注4）提出された書類は、上記⑨「TOEFL成績証明書」を除き返却しません。

■払い込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。

（ア）出願書類を提出しなかった場合。

（イ）出願書類が受理されなかった場合。

（ウ）誤って二重又は過剰に納付した場合。

これらの場合は、納付した者の申し出により、検定料として払い込まれた額又は過剰に払い込まれた額のうち振込手数料等の実費を除く額を返還します。

(2) 出願期間及び提出方法

令和7年1月27日（月）から2月5日（水）まで。（2月5日（水）必着）

角2封筒（出願者の氏名・住所を明記し、「私費外国人留学生選抜出願書類在中」と朱書きすること）に入れ、郵便局の窓口で「簡易書留郵便」にて速達で郵送してください。

(3) 提出先

福岡教育大学入試課（〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号）

4. 障害等のある入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する障害のある者等（下表参照）で、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性がある入学志願者は、出願の前に本学へ申し出てください。

必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る関係者等との面談を行うことがあります。

区 分	
視 覚 障 害	1 点字による教育を受けている者 2 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能または著しく困難な程度の者 3 視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 4 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
聴 覚 障 害	1 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 2 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
肢体不自由	1 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 2 両上肢の機能障害が著しい者 3 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
病 弱	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
発 達 障 害	学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
そ の 他	上記の区分（視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱・発達障害）以外で配慮を必要とする者

※日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を持参して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験上及び修学上の配慮として申請することが必要となりますので、注意してください。

（1）相談の期間

令和7年1月6日（月）まで

注1 期限後に受験上及び修学上の配慮を必要とすることとなった場合には、できるだけ早く（3）の連絡先に問い合わせてください。

注2 申請が試験直前であったり、申請内容への対応が直ちにできないような場合には、希望する配慮を受けられないことがあります。

（2）相談の方法及び必要書類

下記事項を記載した文書（様式任意）に医師の診断書及び身体障害者手帳を有する者は、その写しを添えて申請（郵送可）してください。

ア. 試験日程（私費外国人留学生選抜）、志望課程及びプログラム・専攻等

イ. 氏名、年齢、住所、電話番号

ウ. 障害の種類・程度

エ. 受験上及び修学上の配慮を希望する事項

オ. 在籍（出身）学校の名称、及びその学校でとられていた具体的な修学上の配慮事項

カ. 日常生活の状況

【本学ホームページ：障害のある入学志願者の事前相談】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/previous.html>

（3）連絡先

福岡教育大学入試課

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1番1号

TEL 0940-35-1235

5. 入学者選抜方法等

- (ア) 合格者の選考は、日本留学試験、英語技能検定の TOEFL (指定した課程及びプログラム・専攻等に限る。) の成績、本学が行う学力検査等の成績及び提出書類を総合して行います。
- (イ) 順位は、日本留学試験、英語技能検定の TOEFL の成績及び本学が行う学力検査等の成績の合計得点の高得点順とします。
- (ウ) 同点者は、本学が行う学力検査等の成績の高得点者を上位とします。
- (エ) 日本留学試験のうち、日本語は「読解」と「聴解・聴読解」の合計得点を使用します。
- (オ) 面接の評価は、原則として A・B・C で評価し、その評価が C の者は不合格とします。

ただし、初等教育教員養成課程の理数教育プログラム、芸術・実技教育プログラム(家庭系科目、技術ものづくり系科目)、中等教育教員養成課程中等教育プログラムの美術専攻、家庭専攻、書道専攻、特別支援教育教員養成課程の特別支援教育初等教育プログラム及び特別支援教育中等教育プログラムにあっては、面接の評価を点数化します。

- (カ) 学力検査等は、以下を参照してください。

(1) 学力検査等

課程及びプログラム・専攻等		学力検査等の内容	試験日※1
初等教育教員養成課程	幼児教育プログラム	面接、小論文	2月26日
	小学校教育専攻プログラム	面接、小論文	2月25日・26日
	人文・社会教育プログラム	面接、小論文	2月25日・26日
	理数教育プログラム	数学※2 又は面接(口頭試問を含む。) ※3	2月25日
	芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)	面接、実技検査、音楽理論※4
		(美術系科目)	面接、実技検査
		(体育系科目)	面接、実技検査
		(家庭系科目)	面接(口頭試問を含む。) ※3
		(技術ものづくり系科目)	面接(口頭試問を含む。) ※3、小論文
中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	国語専攻	国語※5
		社会科専攻	面接(口頭試問を含む。) ※3、小論文
		数学専攻	数学※2
		理科専攻	面接(口頭試問を含む。) ※3
		英語専攻	面接(口頭試問を含む。) ※3
		音楽専攻	面接、実技検査、音楽理論※4
		美術専攻	面接、実技検査
		保健体育専攻	面接、実技検査
		家庭専攻	面接(口頭試問を含む。) ※3
		技術専攻	面接(口頭試問を含む。) ※3、小論文
		書道専攻	面接、実技検査
特別支援教育教員養成課程	特別支援教育初等教育プログラム	※面接(口頭試問を含む。) ※3	2月25日・26日
	特別支援教育中等教育プログラム	※面接(口頭試問を含む。) ※3	2月25日・26日

※1 試験日が2月25日・26日と記されている場合でも、志願者数等によりいずれか1日だけの実施となることもあります。詳細は受験票発送時に連絡します。

※2 初等教育教員養成課程理数教育プログラム及び中等教育教員養成課程中等教育プログラム数学専攻の「数学」は、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cを範囲とし、数学Aは「図形の性質」及び「場合の数と確率」を、数学Bは「数列」を、数学Cは「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。

※3 「面接(口頭試問を含む。)」の内容は、次のとおりとします。

- ・初等教育教員養成課程理数教育プログラム
理科に関する理解力についての口頭試問を含みます。口頭試問では、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から1つ選択します。
- ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム(家庭系科目)
家庭に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム(技術ものづくり系科目)
技術に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム社会科専攻
社会科に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム理科専攻

理科に関する理解力についての口頭試問を含みます。口頭試問では、「物理基礎及び物理」，「化学基礎及び化学」，「生物基礎及び生物」，「地学基礎及び地学」から1つ選択します。

- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム英語専攻
英語運用能力を確認するための英語による口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム家庭専攻
家庭に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム技術専攻
技術に関する理解力についての口頭試問を含みます。
- ・特別支援教育教員養成課程特別支援教育初等教育プログラム及び
特別支援教育教員養成課程特別支援教育中等教育プログラム
学校教育における12年の課程又はそれに準ずる課程で身につけた基礎的な学力をもとにした、本課程の学生として求められる基礎的な能力についての口頭試問を含みます。

※4 「音楽理論」の内容は、次のとおりとします。

- ・初等教育教員養成課程芸術・実技プログラム（音楽系科目）では、楽典について出題します。
- ・中等教育教員養成課程中等教育プログラム音楽専攻では、楽典及び音楽史・音楽理論全般について出題します。

※5 「国語」は、「現代の国語」，「言語文化」，「論理国語」，「文学国語」，「古典探究」を出題範囲とします。

（２） 日本留学試験及び TOEFL

課程及びプログラム・専攻等			出題言語	日本留学試験教科・科目	TOEFL
初等教育 教員養成課程	幼児教育プログラム		日本語	B 又は D	×
	小学校教育専攻プログラム			A 又は G 又は H	×
	人文・社会教育プログラム			B	×
	理数教育プログラム			E	×
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)		A 又は G 又は H	×
		(美術系科目)		A 又は G 又は H	×
		(体育系科目)		B 又は D	×
		(家庭系科目)		B 又は D	×
		(技術ものづくり系 科目)		C 又は F	×
中等教育 教員養成課程	中等教育 プログラム	国語専攻		A	○
		社会科専攻		A	×
		数学専攻		E	×
		理科専攻		E	×
		英語専攻		B 又は C 又は D	○
		音楽専攻		A 又は G 又は H	×
		美術専攻		A 又は G 又は H	×
		保健体育専攻		B 又は D	×
		家庭専攻		B 又は D	×
		技術専攻		C 又は F	×
		書道専攻		A	×
		特別支援教育 教員養成課程		特別支援教育初等教育プログラム	
特別支援教育中等教育プログラム				B 又は D	×

「日本留学試験教科・科目」欄のA～Hは、以下の教科・科目を表しています。

A	日本語，総合科目
B	日本語，総合科目，数学（コース1）
C	日本語，総合科目，数学（コース2）
D	日本語，理科（物理・化学・生物から2科目），数学（コース1）
E	日本語，理科（物理・化学・生物から2科目），数学（コース2）
F	日本語，理科（物理・生物），数学（コース2）
G	日本語，数学（コース1）
H	日本語，理科（物理・化学・生物から2科目）

注1. 複数回受験した場合は、高い方の総合点を用います。

注2. 日本留学試験の教科でどちらかを選択することになっている課程及びプログラム・専攻等の受験者でそのどちらにも受験しているものは、得点の高い方を用います。

注3. 「TOEFL」欄で○印は英語検定試験のTOEFLを課します。

注4. TOEFLの有効期間は、令和5年1月以降の試験成績を有効とします。

(3) 実技検査等の内容

※該当の課程及びプログラム・専攻等のみ記載しています。個別学力検査等は1科目でも受験しなかった場合は選抜の対象としません。

①	初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	(音楽系科目)	・・・・・・・・	P 6
②	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	音楽専攻	・・・・・・・・	P 7～8
③	初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	(美術系科目)	・・・・・・・・	P 9
④	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	美術専攻	・・・・・・・・	P 9
⑤	初等教育教員養成課程	芸術・実技教育プログラム	(体育系科目)	・・・・・・・・	P 10～11
⑥	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	保健体育専攻	・・・・・・・・	P 10～11
	◎ 実技検査(体育)	受験上の注意		・・・・・・・・	P 11
⑦	中等教育教員養成課程	中等教育プログラム	書道専攻	・・・・・・・・	P 11

① 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム (音楽系科目)

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】歌唱

1. 小学校歌唱共通教材

以下の4曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- ・ふじ山 文部省唱歌 (ハ長調) 2番まで
- ・もみじ 文部省唱歌 (ヘ長調) 2番まで
- ・スキーの歌 文部省唱歌 (ト長調) 2番まで
- ・われは海の子 文部省唱歌 (ニ長調) 2番まで

※(ア) 1. 小学校歌唱共通教材は指定された調で演奏してください。

(イ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

2. 歌曲

以下の歌曲より任意の1曲を選び、**暗譜**で演奏してください。

- ・母 小松 耕輔作曲 (変イ長調)
- ・くちなし 高田 三郎作曲 (ヘ長調)
- ・Sebben crudele カルダーラ作曲 (ニ短調)
- ・La Serenata トスティ作曲 (ヘ長調)

※(ア) 2. 歌曲を指定以外の調で演奏する者は、「志願票兼出願確認票」とともに伴奏楽譜を提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

(イ) 演奏は、原語とします。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

【Ⅱ】ピアノ

W.A.モーツァルト作曲の以下に指定した作品番号のピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章を演奏してください。

KV280, KV283, KV309, KV330, KV332, KV457, KV545

※(ア) 繰り返しはすべて省略してください。

(イ) 演奏は、暗譜でなくても構いません。

(ウ) 「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

② 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 音楽専攻

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】共通音楽実技課題

※受験者は、3部門（1. 視唱，2. 声楽，3. ピアノ）を必ず演奏してください。

1. 視唱

コールユーブンゲン第1巻，原書 No.1～No.59 までの中から，当日指定したものを演奏してください。

2. 声楽

以下の歌曲より任意の1曲を選び，**暗譜**で演奏してください。

- | | | |
|-----------------------|----------|--------|
| ・ Lasciar d'amarti | ガスパリーニ作曲 | (ヘ短調) |
| ・ Star vicino | ローザ作曲 | (イ長調) |
| ・ L'ultima canzone | トスティ作曲 | (ニ短調) |
| ・ O del mio amato ben | ドナウディ作曲 | (変イ長調) |

※（ア）歌曲を指定以外の調で演奏する者は，伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

（イ）演奏は，原語とします。

（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

3. ピアノ

J.S.バッハ作曲の以下に指定した作品番号より任意の1曲を選び，演奏してください。

- ・ インヴェンション BWV772～BWV786（ただし，BWV772 ハ長調，BWV773 ハ短調，BWV774 ニ長調，BWV775 ニ短調，BWV779 ヘ長調，BWV781 ト長調は除く）
- ・ シンフォニア BWV787～BWV801（ただし，BWV791 変ホ長調は除く）
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第1巻 BWV846～BWV869 のフーガ
- ・ 平均律クラヴィーア曲集 第2巻 BWV870～BWV893 のフーガ

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）演奏は，暗譜でなくても構いません。

（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

(次ページへ続く)

【Ⅱ】選択音楽実技課題

※以下の1. から4. までの4種類の受験方法の中から一つを選択して受験してください。

1. ピアノで受験する者

L.v.ベートーヴェン作曲ピアノ・ソナタより任意の1曲を選び、その第1楽章又は終楽章を演奏してください。

ただし、Op.26, Op.27-1, Op.27-2（第1楽章）, Op.49-1, Op.49-2, Op.54, Op.79 は除きます。

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）演奏は、暗譜でなくても構いません。

（ウ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

2. 声楽で受験する者

任意の歌曲（オペラ又はオラトリオの aria を含む）を1曲、暗譜で演奏してください。

ただし、【Ⅰ】共通音楽実技課題 2. 声楽で課題として指定した曲を除きます。

※（ア）伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。

（イ）演奏は原語とし、演奏時間は4分以内とします。

（ウ）歌曲の調については自由ですが、オペラ又はオラトリオの aria については、原調で演奏してください。

（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

3. 管楽器又は弦楽器で受験する者

任意の1曲又は、一つの楽章を選び演奏してください。

なお、選択できる楽器は以下の通りです。

フルート、オーボエ、クラリネット（標準サイズB♭管又はA管）、バスーン、ホルン、
トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、
チェロ、コントラバス

※（ア）繰り返しはすべて省略してください。

（イ）試験の際に伴奏を付けるので、伴奏楽譜を「志願票兼出願確認票」とともに提出してください。提出する楽譜には志願者氏名を必ず記載してください。無伴奏の場合は、伴奏楽譜の提出の必要はありません。

（ウ）演奏は、暗譜でなくても構いません。

（エ）「音楽実技検査票」提出後の曲目等の変更は認めません。

4. 作曲で受験する者

4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題又はその混合課題とし、非和声音を含む程度）を1題課します。

【試験時間 120分】

③ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム （美術系科目）

構想画を課します。（読書感想画など）

- ※（ア）鉛筆，水彩絵の具，筆，パレット，筆洗，雑巾を持参してください。
- （イ）クレヨン等の彩色用具の持参，使用も可能です。
- （ウ）画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。

④ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 美術専攻

鉛筆画を課します。（静物）

- ※（ア）鉛筆，消し具，はかり棒等，鉛筆画に必要な用具を持参してください。
- （イ）画架，画板，画紙，画鋸は大学側で準備します。
- （ウ）描画補助具として，はかり棒のみ使用を認めます。

⑤ 初等教育教員養成課程 芸術・実技教育プログラム （体育系科目）

⑥ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 保健体育専攻

受験者は、以下に示した【Ⅰ】，【Ⅱ】をすべて受験してください。

※ 11 ページの「◎実技検査（体育）受験上の注意」も必ず読んでください。

【Ⅰ】専門種目

陸上競技，競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球，ダンス，柔道，剣道

上記の中から1種目を選択しますが，上記種目に該当する専門種目がない場合でも，必ず上記の種目の中から1種目を選択し，本学所定の競技歴調査書にその種目を記入し，志願票兼出願確認票とともに必ず提出してください。競技歴調査書に記入した専門種目については，出願後変更できません。

【Ⅱ】選択種目

4つの選択種目（走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンス）から2つの種目を選び，マット運動と合わせて，合計3種目を受験してください。ただし，上記の「【Ⅰ】専門種目」で選択した種目と同じ種目は選択できません。したがって，種目の選択にあたっては，下記の事項に留意してください。競技歴調査書に記入した選択種目については，出願後変更できません。

1. 専門種目で「陸上競技」を受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

2. 専門種目で「競泳，バレーボール，バスケットボール，サッカー，硬式野球」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

3. 専門種目で「ダンス，柔道，剣道」のいずれかを受験する者は，下の表に示す種目のうち，専門種目以外の種目を受験してください。

種	目
マット運動（必須）	
走り幅跳び，柔道，剣道，創作ダンスの中から2種目	

※（ア）専門種目で「ダンス」を受験する者は，選択種目で「創作ダンス」は選択できません。

※（イ）専門種目で「柔道」を受験する者は，選択種目で「柔道」は選択できません。

※（ウ）専門種目で「剣道」を受験する者は，選択種目で「剣道」は選択できません。

◎実技検査（体育）受験上の注意

（ア）試技する際に着用するすべてのウェアの胸部と背部の両面にゼッケンとして白布（縦20cm×横30cm）を必ず縫いつけ、約1.5cm幅の黒字で受験番号の下3桁をできる限り大きな文字で記入してください。

記入の仕方：○には受験番号下3ケタを書いてください。

初等教育教員養成課程芸術・実技教育プログラム（体育系科目）・・・「初芸体△△△」

中等教育教員養成課程中等教育プログラム保健体育専攻・・・・・・・・・・「中体○○○」

ただし、次の場合は注意してください。

- ・柔道の場合は、背部のみに縫いつけてください。
- ・剣道の場合は、袋状のゼッケンを作成し、タレの前面にかぶせるようにしてください。
- ・競泳、ダンスの場合は、何も縫いつけなくて構いません。

（イ）専門種目で使用するウェア、シューズ（野球及び陸上競技のスパイクを含む）、剣道具、竹刀、槍、スイングキャップ、バット（金属可）、グローブ等の個人用具は、すべて各自持参してください。

ダンスで専門種目を受験する者は、自由なテーマに基づく創作作品（2分以上2分55秒以内）を用意し、音楽については、CD（CD-R）、USBメモリを必ず用意してください。（ただし、無音も可。）なお、作品用衣装がある場合は、着用して演技してください。また、CDについては、パソコンを除く一般の音楽再生機器（CDプレーヤー等）で再生できることを確認のうえ、持参してください。（CDが再生できない場合は、無音での実技となります。）

（ウ）選択種目で使用するウェア（選択種目の「柔道」における柔道衣を含む）、シューズは、各自持参してください。

なお、選択種目の「剣道」で使用する防具、竹刀等は、大学で用意しますが、自己のものを使用しても構いません。

（エ）体育館シューズと屋外用シューズを持参してください。

なお、選択種目の「走り幅跳び」では、スパイクシューズの使用はできません。

以上のようなことが守られていなければ試技ができないこともあります。

⑦ 中等教育教員養成課程 中等教育プログラム 書道専攻

受験者は、以下に示した【Ⅰ】、【Ⅱ】をすべて受験してください。

【Ⅰ】臨書課題

用紙は画仙紙半切、半紙等を使用します。

【Ⅱ】創作課題

用紙は画仙紙全紙とします。

（自由に切って表現しても構いません。ただし、全紙1/4より大きい作品にしてください。）

※（ア）筆、墨、硯、下敷、文鎮、ペーパーナイフなど揮毫上必要な用具を持参してください。

用紙は当日配布します。また、持参した用紙は、使用できません。

（イ）罫線が印刷された下敷は使用できません。

（ウ）以下の条件をすべて満たす書籍に限り、字典の持ち込みを認めます。

- ① 書籍販売されていること。
- ② 古典作品を集字したもの。
- ③ 五書体全てを含んでいるもの。
- ④ 特定の人物の書を集字したものでないこと。（例 趙之謙字典、王鐸字典などは不可）

(4) 面接、小論文、実技検査の評価の観点

課 程	プログラム・専攻等		観 点 等
初等教育 教員養成 課程	幼児教育プログラム		■面接は、個別で行います。志望動機、勉学意欲、日本語の理解力・表現力、本プログラムで学ぶ適性等を多面的総合的に判定します。 ◇小論文は、日本の教育と自分の国の教育、あるいは教育一般にかかわる設問を課し、所定の時間内で論述解答することを求めます。本プログラムで学ぶのに必要な知識、論理的能力、分析的能力、表現能力をみることが主眼です。
	小学校教育専攻プログラム		■面接は、個別で行います。志望動機、修学意欲、小学校教育や教育一般に関する基礎知識、日本語による適切な表現力・理解力、本プログラムにおける適性などを総合的に評価します。 ◇小論文は、小学校教育や教育一般に関する設問を課し、本課程で学ぶために必要な日本語の読解力・表現力・論理構成力を総合的に評価します。
	人文・社会教育プログラム		■面接は、個別で行います。志望動機、修学意欲、日本の小学校教育に関する基礎知識、日本語による適切な表現力・理解力、本プログラムにおける適性などを総合的に評価します。 ◇小論文は、小学校教育や教育一般に関する設問を課し、本課程で学ぶために必要な日本語の読解力・表現力・論理構成力を総合的に評価します。
	理数教育プログラム		■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。自然科学（物理、化学、生物、地学）に関する基礎知識や理解度と日本語による適切な表現力、修学意欲などの観点から総合的に評価します。
	芸術・実技教育 プログラム	(音楽系科目)	○実技検査は、演奏に関して、楽譜の読み方が適切になされているかどうか、必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか、音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から、総合的に評価します。 ※音楽実技検査票は、音楽実技検査の準備等のために提出していただき、その記載内容が評価を左右することはありません。 ■面接は、個別で行います。志望動機、修学意欲、日本の小学校教育に関する基礎知識、日本語による適切な表現力・理解力、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(美術系科目)	○実技検査は、平面における基礎的描写力や用具の使い方等の基本的な造形力について総合的に評価します。 ■面接は、個別で行います。志望動機、修学意欲、日本の小学校教育に関する基礎知識、日本語による適切な表現力・理解力、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(体育系科目)	○実技検査は、専門種目では、種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（集団種目については、個人的技能や集団的技能を含む。）について実技検査します。選択種目では、専門種目以外の種目を選択し、種目の特性に応じた技能について実技検査します。専門種目と選択種目の合計点が実技検査の評価になります。 ※競技歴調査書は、体育実技検査の準備等のために提出していただき、その記載内容が評価を左右することはありません。 ■面接は、個別で行います。志望動機、修学意欲、日本の小学校教育に関する基礎知識、日本語による適切な表現力・理解力、芸術・実技教育プログラムとしてのスキル向上及び学びに向かう姿勢を評価します。
		(家庭系科目)	■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。志望動機、家庭科教育に関する基礎的な知識や理解力を問います。この面接によって、勉学意欲、日本語の理解力・表現力、本プログラムでの適性などを総合的に評価します。
		(技術ものづくり系科目)	■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。技術ものづくり（設計・製作、プログラミング、エネルギーの利用、動植物の育成）の内容から試問し、芸術・実技教育プログラムに対する適性、資質、能力等を総合的に評価します。 ◇小論文は、技術分野に関する基礎的な事項に関して設問を課し、日本語の表現力、技術分野に関する基礎知識、論理構成力、思考力、理解力を総合的に評価します。

課程	プログラム・専攻等		観点等
中等教育 教員養成 課程	中等教育 プログラム	社会科専攻	■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。多面的な試問を行い、社会科全般に関する基礎的知識や論理的思考力・表現力及び勉学意欲・資質等を総合的に評価します。 ◇小論文は、社会を考える内容の文章などを示し、これについての設問に、所定の字数で論述解答してもらいます。本専攻で学ぶために必要な、読解力・分析力・表現力・論理性などの資質をみることが主眼です。
		理科専攻	■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。自然科学（物理，化学，生物，地学）に関する基礎知識や理解度と日本語による適切な表現力，修学意欲などの観点から総合的に評価します。
		英語専攻	■面接（口頭試問を含む。）は、個別で行います。過去の学習経験のほか，志望理由や大学での勉学の抱負，本専攻についての興味関心等の観点から，本専攻で学ぶための適性を総合的に評価します。
		音楽専攻	○実技検査は，演奏に関して，楽譜の読み方が適切になされているかどうか，必要とされる演奏の技術を十分に練り上げているかどうか，音楽的な表現をどの程度達成できているか等の観点から，総合的に評価します。 ※音楽実技検査票は，音楽実技検査の準備等のために提出していただき，その記載内容が評価を左右することはありません。 ■面接は，個別で行います。志望動機，大学での勉学の抱負，卒業後の進路等について述べてもらい，日本語能力の習熟度，質問の受け答え，勉学意欲等を評価します。
		美術専攻	○実技検査は，平面における基礎的描写力や構成力等の基礎的な表現力について，総合的に評価します。 ■面接は，個別で行います。美術に関する活動経験や体験，教育に対する意欲等を述べてもらい，本専攻で学ぶための適性を総合的に評価します。
		保健体育専攻	○実技検査は，専門種目では，種目の特性に応じた基本的技能や応用的技能（集団種目については，個人的技能や集団の技能を含む。）について実技検査します。選択種目では，専門種目以外の種目を選択し，種目の特性に応じた技能について実技検査します。専門種目と選択種目の合計点が実技検査の評価になります。 ※競技歴調査書は，体育実技検査の準備等のために提出していただき，その記載内容が評価を左右することはありません。 ■面接は，個別で行います。過去の運動経験，大学での勉学の抱負，本専攻に対する興味関心を試問し，本専攻における修学への適性並びに日本語能力の習熟度を評価します。
		家庭専攻	■面接（口頭試問を含む。）は，個別で行います。志望動機、家庭科教育に関する基礎的な知識や理解力を問います。この面接によって，勉学意欲，日本語の理解力・表現力，本専攻での適性などを総合的に評価します。
		技術専攻	■面接（口頭試問を含む。）は，個別で行います。志望動機や自己アピールのほか，技術教育に関する基礎的な知識や理解力を問います。この面接によって，志望動機，勉学意欲，日本語の理解力・表現力，本専攻での適性などを総合的に判断します。 ◇小論文は，技術分野に関する基礎的な事項に関して設問を課し，日本語の表現力，技術分野に関する基礎知識，論理構成力，思考力，理解力を総合的に評価します。
		書道専攻	○実技検査は，まず，臨書課題において，日本及び中国の古名跡について，臨書表現の基礎的資質を評価します。また，創作課題においては，自分の得意とする古名跡を活用して表現できているかどうかを評価します。 ■面接は，個別で行います。志望理由や大学での勉学の抱負等を述べてもらい，本専攻で学ぶための適性や学習意欲などを総合的に評価します。
特別支援 教育教員 養成課程	特別支援教育 初等教育プログラム	■面接（口頭試問を含む。）は，個別で行います。基礎的な学力に関する試問のほか，自己の意見を明確に述べる表現力及び特別支援教育に対する意欲を総合的に評価します。	
	特別支援教育 中等教育プログラム		

6. 試験期日及び時間割

(1) 試験期日 **令和7年2月25日(火)・2月26日(水)**
(詳細を4ページに掲載していますので確認してください。)

(2) 時間割 受験票送付時にお知らせします。

7. 試験場

福岡教育大学

※会場(試験室等)は、受験票送付時にお知らせします。

8. 合格者発表

合格者発表は、次のとおり行います。

令和7年3月6日(木) 12時	ホームページ掲載
------------------------	-----------------

※ 合格者の発表は、受験番号のみ掲示します。

※ ホームページ上での合格者発表については、以下のページから確認いただけます。

【本学ホームページ：入試案内】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/>

※ ホームページへの掲載は、本学が情報提供として行うものです。

合格者の発表は、必ず合格通知書で確認してください。

◎ 合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を送付します。不合格者には、特に通知しません。

【注 意】電話等による可否の問い合わせには一切応じられません。

9. 入学手続

合格者は、所定の期日までに入学手続きを完了してください。詳細については「合格通知書」等を送付する際に通知します。

なお、手続きを完了していない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

○郵送による入学手続

・令和7年3月27日(木)まで(必着)

○窓口での入学手続

・受付期間 令和7年3月27日(木)午前9時から12時までの間(厳守)

10. 入学料、授業料

入学料	282,000円	
授業料 前期分	267,900円	
授業料 後期分	267,900円	(年額 535,800円)

(1) 上記の金額は、令和6年度入学者の金額であり、令和7年度入学者については、変更される場合があります。

なお、在学中に授業料が改定された場合には、改定後の授業料となります。

(2) 特別の事情(学資負担者の死亡、風水害等による被災)又は経済的理由により、納入が著しく困難であると認められるときは、願い出により、入学料・授業料の免除及び徴収猶予を認めることがあります。

【注意】

「入学料の免除及び徴収猶予」の願い出は、「9. 入学手続」中の手続期間に必ず提出する必要があります。

※ 入学料・授業料の納入方法及び入学料・授業料免除等の詳細については、「合格通知書」等を送付する際にお知らせします。

1 1. ノートパソコンの必携（BYOD）について

福岡教育大学では、「情報機器の操作」（必修授業科目）をはじめとした様々な授業や、レポートの作成、教育実習など、数多くの機会にパソコンとインターネットを活用します。そのため、令和4年度の教育学部新入生より、個人用ノートパソコンを必携（BYOD）としています。本学が推奨するノートパソコンの仕様については、本学ホームページに掲載しています。その他、ノートパソコンの必携に関する詳細については、合格者発表後にお知らせします。

【本学ホームページ：入学準備情報（BYOD）】

<https://www.fukuoka-edu.ac.jp/admissions/information/byod.html>

1 2. 入学者選抜試験個人成績の開示について

令和7年度私費外国人留学生選抜に係る受験者の個人成績は、本人の申請に基づき次のとおり開示します。

（1）開示内容

次の（ア）（イ）とします。

（ア）日本留学試験、英語技能検定の TOEFL の成績及び本学が行う学力検査等の合計得点を開示します。

（イ）面接を点数化しない募集単位にあつては、その面接評価を開示します。

（2）申込方法

成績の開示を希望する受験者は、出願時に提出する志願票（本学指定の様式）の「入試成績の開示請求」欄の「希望する」にチェックし、返信用封筒（長形3号の封筒に郵便番号、住所、氏名等を明記し、460円分の切手を貼ったもの）を出願書類等に同封の上、出願期間内に提出してください。

（3）開示方法

受験者本人に令和7年5月1日から6月30日の間に通知書を郵送します。

注1）6月中に届かない場合は入試課へご連絡ください。

注2）「宛先不明」等で返送された場合、本学で保管するのは令和8年3月末日までとします。

（4）その他

令和6年度以前の入学者選抜に係る個人成績は開示しません。

13. 志願票等の記入上の注意

(1) 入学試験志願票（私費外国人留学生用）について

- ① 志願票には、志願者が自筆により記入してください。
- ② 志願票の記入には、黒のボールペンを使用してください。
- ③ フリガナ欄には、カタカナで記入してください。
- ④ 生年月日の「年」は、「2001年…」のように西暦で記入してください。
- ⑤ 国籍欄は、出身国名を記入してください。
- ⑥ 在留資格欄は、日本に居住している者のみが、現在有する具体的な在留資格を記入してください。
- ⑦ 志望課程、プログラム・専攻欄は、1ページの「1. 募集人員」を参照して、志望する課程、プログラム・専攻を記入してください。
なお、課程、プログラム・専攻を記入する際に次のことに注意してください。
- (ア) 初等教育教員養成課程を志望する者は、「プログラム名」をカッコ内に記入してください。
- (イ) 中等教育教員養成課程を志望する者は、「専攻名」をカッコ内に記入してください。
- (ウ) 特別支援教育教員養成課程を志望する者は、「特別支援教育初等教育プログラム」又は「特別支援教育中等教育プログラム」のいずれかをカッコ内に記入してください。
- (エ) 初等教育教員養成課程理数教育プログラム及び芸術・実技教育プログラムを志望する者は、受験する科目を1つ選んで○で囲んでください。
- ⑧ 合格通知書送付先欄は、令和7年3月7日の合格者発表と同時に郵送する合格通知書等が、確実に届く場所を記入してください。（現住所と異なる場合のみ記入してください。ただし、日本国内に限ります。）
- ⑨ 国際バカロレア資格等の大学入学に必要な資格を取得している者は、資格試験欄にその名称・取得年月日を記入してください。
- ⑩ 日本留学試験及び TOEFL 欄には、5ページの「(2) 日本留学試験及び TOEFL」を参照して、必要事項を記入してください。
- ⑪ 入試成績の開示請求欄は、希望する場合のみチェックしてください。

(2) その他の出願書類について

- ① 入学志願者履歴書（私費外国人留学生用）、写真票及び受験票についても、上記に準じて必要な事項を記入してください。
- ② 写真票と受験票は、記入した後も切り離さないで提出してください。
- ③ 志願票、写真票及び受験票に貼る写真は、全て同じ写真を使用してください。
写真が1つでも違っていたら、出願を受け付けることができませんので注意してください。

14. 個人情報の利用について

個人情報の保護に関する法律に基づき、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報につきましては、次の（１）から（８）のとおり利用しますので、予めご了承ください。

- （１）合格者の住所・氏名等を、入学手続に関わる業務で利用します。
- （２）入学手続者の住所・氏名等を、入学後の学籍管理等の修学に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。
- （３）入学手続者の住所・氏名等を、入学料及び授業料徴収等の納入金管理に関わる業務で利用します。
- （４）入学選抜で取得した成績を、入学年度における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用します。
- （５）入学選抜を通じて取得した個人情報の一部又は全部を、個人が特定できない形で、統計処理等の付随する業務及び本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。
- （６）（５）で得た統計処理等の結果や調査研究結果の一部又は全部を、本学の教育研究活動、広報活動等の業務に利用する場合があります。
- （７）（５）及び（６）につきましては、データの電子化、印刷、製本等の業務を業者に委託する場合があります。
- （８）本学の関連団体である学生自治会及び福岡教育大学生活協同組合から、入会者確認等の業務を円滑に行うことを目的とした資料提供を求める申し出があった場合、入学手続者の氏名等、当該利用目的に限定した範囲での資料を提供する場合があります。

※ 本学が取得した個人情報は、個人情報の保護に関する法律第27条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

15. その他

出願及び受験に際し不明な点があれば、下記に照会してください。

福岡教育大学入試課

TEL 0940-35-1235（直通）

令和6年度私費外国人留学生入学試験状況

○ 令和4年度～令和6年度の私費外国人留学生入学志願者は0名でした。

○ （参考）令和3年度私費外国人留学生入学試験状況

課程・選修・専攻等		志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
初等教育 教員養成課程					
	幼児教育選修				
中等教育 教員養成課程	国語専攻				
	社会科専攻	1	1	0	0
	数学専攻				
	理科専攻				
	英語専攻	1	0	0	0
	音楽専攻				
	美術専攻				
	保健体育専攻				
	家庭専攻				
	技術専攻				
	書道専攻				
特別支援教育 教員養成課程	初等教育部	1	1	0	0
	中等教育部				
計		3	2	0	0

大学所在地

〒811-4192

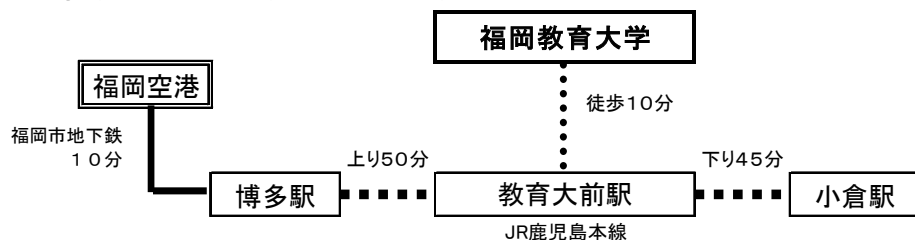
福岡県宗像市赤間文教町1番1号



【交通機関】

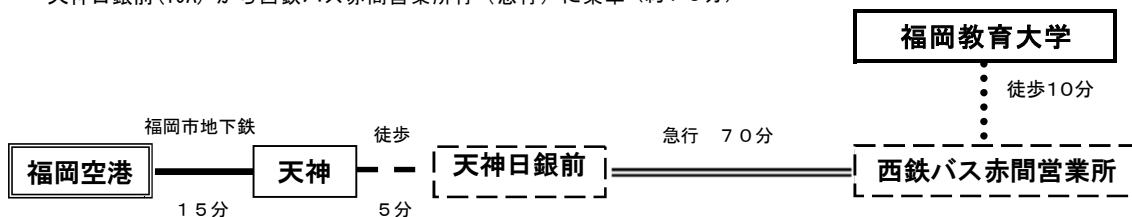
○JR利用の場合

- ・ JR鹿児島本線 上り 博多駅 から普通電車で乗車（約50分）
- ・ JR鹿児島本線 下り 小倉駅 から普通電車で乗車（約45分）

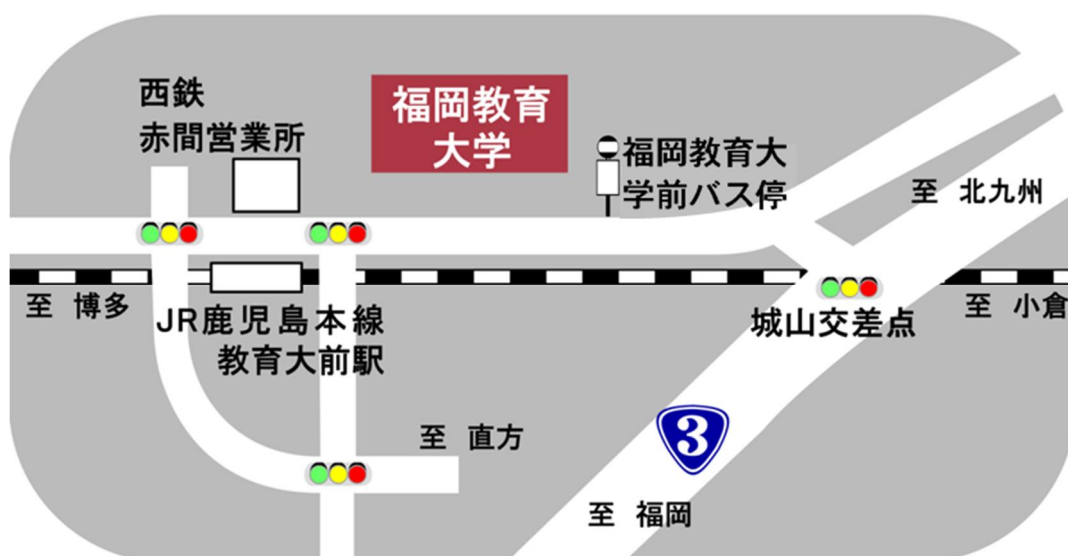


○西鉄バス利用の場合

- ・ 天神日銀前 (19A) から西鉄バス赤間営業所（急行）に乗車（約70分）



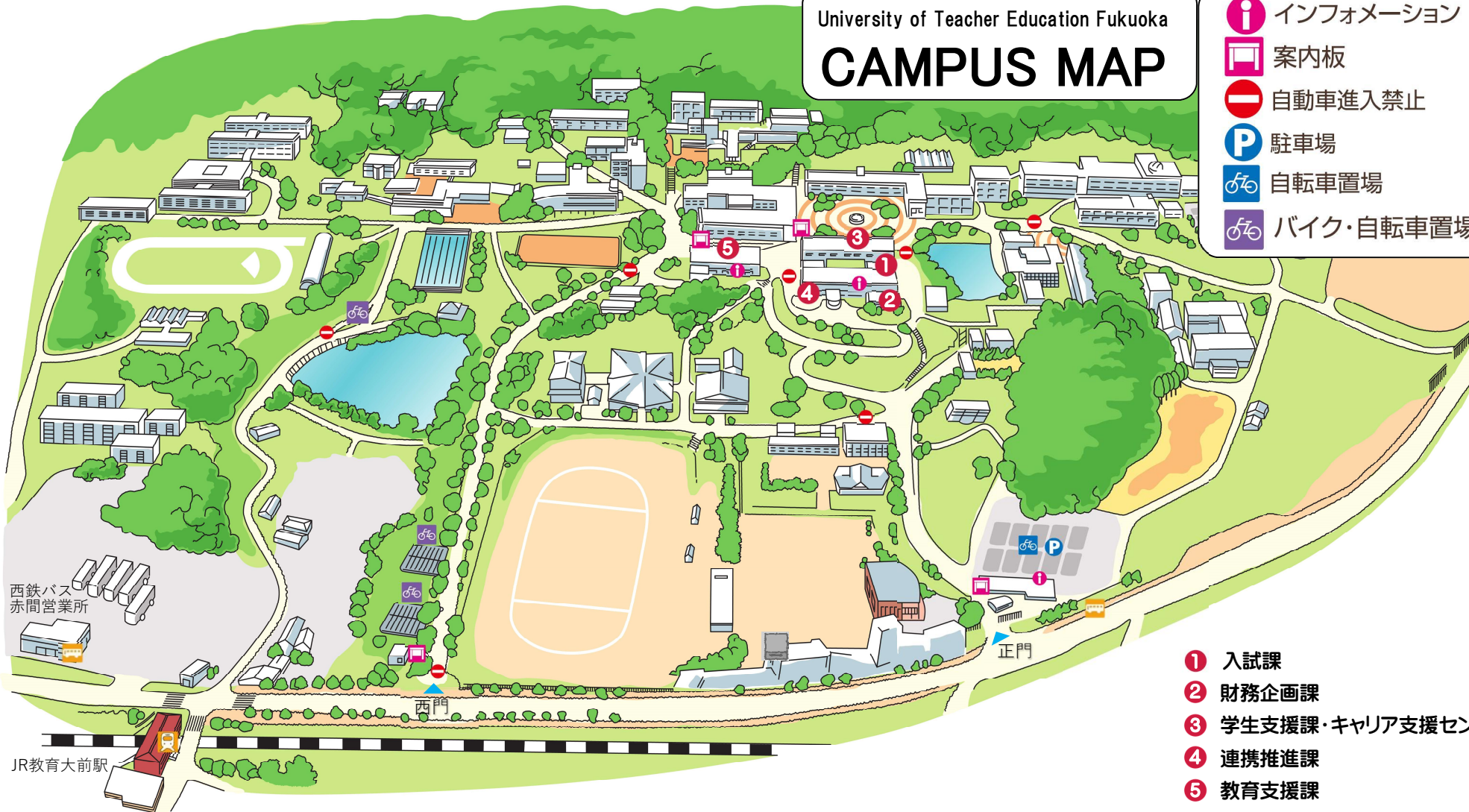
【周辺道路地図】



University of Teacher Education Fukuoka

CAMPUS MAP

- インフォメーション
- 案内板
- 自動車進入禁止
- 駐車場
- 自転車置場
- バイク・自転車置場



- 1 入試課
- 2 財務企画課
- 3 学生支援課・キャリア支援センター
- 4 連携推進課
- 5 教育支援課

福岡教育大学各種お問い合わせ先

- 授業、カリキュラム、免許等について・・・TEL：0940-35-1229（教育支援課）
- 教育実習等について・・・TEL：0940-35-1233（教育支援課）
- 学生生活、課外活動、学生寮等について・・・TEL：0940-35-1754（学生支援課）
- 奨学金、入学料、授業料減免等について・・・TEL：0940-35-1239（学生支援課）
- 留学・国際交流について・・・TEL：0940-35-1247（連携推進課）
- 就職支援（教職関係）について・・・TEL：0940-35-1249（キャリア支援センター）
- 就職支援（企業、公務員関係）等について・・・TEL：0940-35-1241（キャリア支援センター）
- 授業料等の納入関係について・・・TEL：0940-35-1222（財務企画課）
- 入試全般・・・TEL：0940-35-1235（入試課）